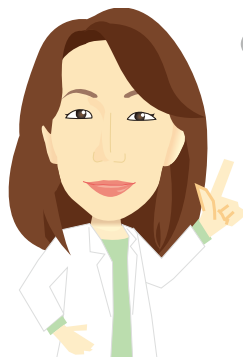


真理子先生の

# 女性のどカタ

## 妊娠を望まれている方へ④



伊藤 真理子

● (いとう・まりこ) 1986年山形大学医学部卒業。山大病院、篠田病院を経て2005年6月に真理子レディースクリニックを開業。日本産科婦人科学会認定産婦人科専門医。

誰もが自然な妊娠を希望されませんが、叶わない場合も少なからずあるでしょう。排卵検査薬などで妊娠をアシストできることもありますが、それでも効果がない場合、次のステップも必要です。

### 人工授精のお話です

具体的には「人工授精」「体外受精」で、今回は人工授精のお話で

す。人工授精とは精子を注射器に詰め、注射器の先につけた柔らかいチューブを子宮の一番奥までそくそく入れて精子を子宮に送り込む治療です。

### 体外受精との違いは？

精子と卵子が最終的に出会う(受精)場所は卵管で、あくまで受精が女性の体の中で行われるのが特長です。この点、受精が体の外で行われる体外受精とは大きく異なります。体外受精については次号でお話しします。

### 行う場合とは？

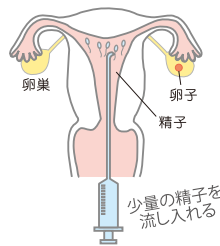
人工授精は、しばらく

自然に性行為を繰り返しても妊娠しなかったという場合、男性の精子が少なめという場合などで行われます。

以前にもお話ししたようにヒューナーテストの結果で精子が頸管粘液と出会うと動かなくなるという場合も人工授精の対象になり、何らかの事情があつて人工授精をご希望のご夫婦にも行つていきます。

### 男性の理解が必要

人工授精を行うタイミングですが、卵子が十分に成長したことを確認した排卵日近くに行います。この治療は性行為が



ないまま男性に精子を容器に採つていただく必要があり、抵抗感を抱く男性が少なくないのも実情です。男性の理解が必要な治療法と言えるでしょう。

### 保険は効きません

現時点では保険の効かない自費診療ですので医療機関により診療費用は異なります。近い将来早く保険診療が認められるようになればと願っています。